

# KUMAMOTO YMCA NEWS

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

## YMCA October 2014 vol.509

# 10



ボウリングで会員同士が交流(会員スポーツ大会)

- C O N T E N T S**
- ① 水前寺幼稚園リニューアル
  - ② YMCA学院日本語科スピーチ大会/YMCA  
フィランソロピー協会映画上映会/YMCA祭
  - ③ 九州小学生体操大会/小学生英語暗唱大会  
タラント No.7 「祈りと愛ある行動」  
Youth Act Vol.7 サザンフェスタ実行委員長  
白石南斗さん  
REPORT インドネシア訪問/YMCA学院シ  
ンガポール研修
  - ④ 御船町スポーツセンター指定管理運営開始  
Topics 上通YMCA/東部YMCA

# YMCA水前寺幼稚園リニューアル

YMCAによる運営が始まり11年を迎えたYMCA水前寺幼稚園がリニューアル。9月から新しくなった園舎での保育がはじまりました。



外壁、屋上、室内床、壁、テラス、冷暖房設備、トイレ、シャワー、LED、遮光フィルム、網戸など、全面的にリニューアルした園舎



## わたしと聖句

使徒言行録4章24節

主よ、あなたは天と地と海と、そして、そこにあるすべてのものを造られた方です

すべてを造ったのは誰か？

ある女性から「私な、毎日神様とケンカしてんねん！不信仰やる？でも神様というケンカ相手がいるから私は元気やねん！」と言われました。それを聞いた私は「神様とケンカなんて

とんでもない！」と驚きましたが、この女性は大真面目でした。

一緒に死のうと考えたほど、長く子育てで悩んでいて、事あるごとに神様に悪口を散々言ったそつです。そしてそういう時の神様は、その悪口を黙って聞いてくれるそうです。彼女は「子どもものやる事や発言、それに対する周りの反応、そしてもちろんその子ども自身。その全ては神様が造られ、全ては神様の計画の内にある」とも言っていました。私はその言葉を聞いた時「主よ、あなたは天と地と海と、そして、そこにあるすべてのものを造られた方

です」という聖句を思い出し、同時に彼女の言ったとおりだなぁと思いました。この聖句は辛い目にあった仲間に対し、他の仲間たちが心を一つにして神様に祈った言葉の冒頭部分です。

生きていくとどうしても辛い事があります。それはクリスマスチャンでもそうです。私は大人になってから神様を知りましたが、日々の生活で辛い事が起きた時、その辛い事も造られたのは神様だと信じるようになり、そう思うと全てにおいて少し気持ちを楽にして向かい合えるようになりました。

日本基督教団武蔵ヶ丘教会  
神田 道隆



YMCA水前寺幼稚園園長  
井上和美

水前寺幼稚園では、夏休み期間に全面的な改修工事が行われ、9月1日の始業式を、きれいになった園舎で迎えることができました。これも設計や工事関係の方々をはじめ、保護者の皆様、YMCA関係、地域の皆様等、多くの方に支えていただいたおかげと、心より感謝申し上げます。

園児にとって大切な環境である幼稚園は、「楽しいな。明日も行きたいな」と思える居場所であることが必要です。今回のリニューアルにあたり、明るく清潔な空間、友だちと遊ぶための安全な空間、温かく居心地のいい空間であることを目指しました。特に建築家の葉祥栄さんにアドバイスをいただきました。子どもたち自身が五感で感じる事ができる建物であることをコンセプトに、室内のわずかな色味も浮き上がり、自分たちで色をつくり楽しむ事ができる白を基調にさせていただきました。園庭でも白壁を背景に、花や木が新鮮で豊かな色合いを生み出し、園児の表情も姿も、以前にも増して輝いて見えます。便利さや快適さだけを追求するのではなく、子どもたちの目線に立った園舎を考えていく重要性を、改めて感じる事ができました。

9月23日(祝・火)に行われた献堂式には、神様の恵みと、この改修工事に関わっていただいたすべての



日は、年長組の園児が代表で手渡しました。多くの方の思いが詰まった園舎を、ずっと大切に使うこともあわせて約束しました。

これからも水前寺幼稚園は、YMCAの幼児教育の拠点として、キリスト教保育を通して、人と人との繋がりを大切に、自分で考えて、いきいきと活動に取り組み子どもたちを育むことを目標に、教育内容の充実を図りながら、保育を進めていきます。また、地域の中での水前寺YMCAとしても、新しい歩みを始めます。幼稚園が終了した後の時間と空間を有効活用することで、地域にも必要とされるYMCAとして取り組んでいきます。

今後とも、子どもたちの笑顔のために、水前寺幼稚園の応援団として、皆様のご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 留学生が日本語で自分の思いを発表 YMCA学院日本語科スピーチ大会



努力賞・全泰(ソウル)さんが受賞。

東部YMCA運営委員長の平山俊生さんは、「今回、皆さんのスピーチを聴き、このスピーチ大会は国際交流であると同時に国際理解の場でもあると実感。貴重な意見が聴けて、皆さんに感謝します」と総評を述べました。留学生たちもホッとした笑顔で応えていました。

## 1位 『平凡からの脱出』

王曉璐さん(中国)



私は、成績も性格も顔立ちも平凡。一流大学に進学した姉姉といつも比べられ、違う道に進もうと芸術コースを選択しました。しかしゼロからのスタートで、何をやっても下手。やる気も下がる一方でした。こんな人生を変えたいと思い、決意したのが日本への留学です。日本語の勉強はもちろ

YMCA学院日本語科の留学生による「スピーチ大会」が、9月2日(火)、東部YMCAで開催されました。今年4月に入学した初級コースから、来日して1年半になる上級コースまで、40名の中から8名が選ばれ、この日のためにコツコツと練習を積み重ねて準備してきた成果を発表しました。

テーマは、「日本人のマナーの良さを学び帰国後に広めたい」「来日して学んだ自立心」など、留学生たち一人ひとりが日々の暮らしの中で感じたことや将来の夢や希望です。暗記した原稿をテープよく話す人、感情豊かに観客に語りかける人…。緊張のあまり次の言葉を忘れるシーンもありましたが、全員が最後まで、自らの主張を発表することができました。

審査の結果、1位・王曉璐さん(中国)、2位・Pairma Elizabethさん(アメリカ)、3位・Nu Tawng Sanさん(ミャンマー)。



事について、性別は関係ないと思う人が多くいます。しかし趣味についてはどうでしょうか。最近アメリカで、小学生の男の子が女の子向けのアニメを好きになり、そのせいでクラスメイトにイジメられたという事件が起こりました。

私は趣味も仕事も同じだと思いません。世界的なファッションデザイナーやメイクアーティストは男性が多く、それをおかしいと思う人はいません。女らしい・男らしいで判断しなくなれば、人にダメージを与えるような考えがなくなり、人はもっと自由になれるのではないのでしょうか。

## 3位 『私の夢』

Nu Tawng Sanさん(ミャンマー)



私の夢はソーシャルワーカーになること。年齢や立場に関係なく困った人たちをサポートする仕事は、平和をつくり出す大切な仕事だと思います。

平凡から抜け出すには努力が必要です。そして、努力する私を見て、母は学費を援助してくれました。11月には日本留学試験が控えています。笑顔で卒業できるように、さらに頑張りたいと思っています。

## 2位 『性別を気にせず好きなことを楽しむ』

Pairma Elizabethさん(アメリカ)

女性の社長や男性の保育士など、仕

ミャンマーには、両親がいない子ども、病院に行けない子ども、教育を受けられない子どもがたくさんいます。日本でソーシャルワーカーについて学んだら、帰国して教育を受けられない子どもたちのために働きたいと考えています。教育を受けた子どもたちが増えると、国はもっと発展するはずだと思います。価値がある仕事だと思っているので、自分の夢を叶えるためにも日本で多くの経験を積みたいと思っています。

# 『日本一幸せな従業員をつくる!』 上映会&講演会開催



8月30日(土)、YMCAフイランソ

ロビー協会と「男女共同参画センターはあもにい」の共催で、ドキュメンタリー映画『日本一幸せな従業員をつくる!』ホテルアソシア名古屋ターミナルホテルの挑戦』の上映会が午前と午後の2回にわたり開催されました。

4期連続の赤字にあえいでいた名古屋駅前の老舗ホテル。新たな総支配人を選ばれた柴田秋雄さんが経営再建策として取り組んだのは、「顧客満足」ではなく「従業員満足」。従業員が参加し

て経営理念をつくり、従業員の誕生日会や表彰制度、従業員食堂のリニューアルと、従業員を大切にしている様々改革がなされていきます。大切にされていると感じた従業員は、仕事に対する意欲も上がり、結果的には顧客の満足度も高まり、経営再建へとつながっていきます。

上映後は、柴田さんと監督の岩崎靖子さんの対談。「素敵な支配人がいると聞いて訪問したのが柴田さん。従業員の言葉を聞くうちに、ホテルの物語を映画にしようと思えました」と、映画化へのきっかけを語る岩崎さん。柴田さんは「儲けが少なくても従業員が幸せならいい」という企業が、現実形になったことを知ってほしい、「良い社会、良い人間社会をつくらせていきたい」と話してくれました。

## YMCA祭が大にぎわい

9月、みなみYMCAとながみねファミリーYMCAにてYMCA祭が開催されました。それぞれ、ボランティアに支えられながら、食パザーやのみの市、ステージ発表を実施。多くの来場者でにぎわいました。益金は、YMCAの国際協力活動や、地域活動などに用いられます。



### みなみYMCA サザンフェスタ

日程:9/7(日) 時間:11:30~15:00  
県警マスコットゆっぴーやロアツクくんも来場。ジャンケン大会や暴走運転根絶宣言なども行われました。



### ながみねファミリー YMCA ながみね祭

日程:9/13(土) 時間:16:00~20:00  
世界に感謝!地域に感謝!ファミリーに感謝!地域に根ざす祭として過去最高の約2500名が来場しました。

# タラント No.7

総主事 岡 成也

## 祈りと愛ある行動

夏の終わりに心を動かされるドキュメンタリー映画に出会いました。タイトルは「日本一幸せな従業員をつくる!」。企業のトップが利益追求や顧客満足ではなく、第一に、働く従業員や家族の幸せを願い、従業員の満足によって、赤字続きの経営を再建していくというもので、登場する従業員はとにかく笑顔でした。「すべての活力の源は人である」、「世の中に必要としない人間など一人もいない」と映画に登場するホテル経営者の取組みの原点である「一人ひとりの従業員への愛」が、お互いを認め、「絆」を生み、心をつなぐ育んでいくというものでした。

YMCA運動の根源は、青年たちの熱い祈りと行動力、実生活の中で奉仕をしながら福音を伝える社会福音主義の考えを持ったボランティア活動です。「すべての人を一つにしてください」(ヨハネによる福音書17章21節)という聖句は、世界のYMCAの標語であり、YMCAの正章の中に標記されています。キリストの愛による一致で、国家、民族、人種の隔たりを超えた仲間、志をもって、平和な世界を築きたいという願いが込められています。

現在、日本はもとより社会全体が大きく変化し様々な歪や困難を抱える人々があります。社会が一つとなって立ち向かわなくては解決できない問題が山積んでいます。改めて、YMCA運動の根源に込められた聖句の意味に思いをはせ、心をつなぐ、私たちに何ができるか、共に祈り、平和な世界を実現するために努力していきたいものです。

「大切なのは、どれだけ大きなことをするかではありません。小さなことに、どれだけ大きな愛を込めるかです」とマザー・テレサの言葉にありますように、自分の大きな益となる結果ばかりを求めのではなく、祈りを持って、周りの人々のことを思い、小さなことに全力で大きな愛を込めて行動するYMCAの働きが求められています。

# YMCA在籍生が各大会で活躍

## 九州小学生体操大会円馬3位入賞

8月15日(金)〜16日(土)に実施された九州小学生体操大会に熊本YMCA体操チームから7名が出場しました。小学6年生の山田晟太郎さんが種目別の円馬3位入賞、個人総合7位と大健闘。「円馬では落ちるくらいスピードをつけて回そうと思ったのが結果につながりました」と試合を振り返りました。

山田さんは11月8日(土)、9日(日)に三重県四日市市で開催される全国U-12大会への吊り輪が入るの、その種目もしっかりできるようにしたい」と意気込みを語りました。



## 小学生英語暗唱大会銅賞

8月23日(土)、尚絅中学・高等学校主催「第13回小学生尚絅英語暗唱大会」が実施されました。YMCAこどもえいごスクールからは7名が出場。みなみYMCAに在籍する魚住知永さん(小学5年生男子)が、課題暗唱部門・個人の部で、見事『銅賞』に輝きました。

全部門合わせて62組約100名が参加した今大会。魚住さんの豊かな表現力と美しい発音が、審査員や観客の皆さんを魅了しました。大会を終えた魚住さんは「銅賞という結果は、正直につれしいです。でも、もっとできたはず。来年は銀賞、金賞を狙いたいです」と語ってくれました。



# YOUTH ACT

Vol.07 YMCAで活躍しているユース紹介

## ●サザンフェスタ2014実行委員長



白石南斗さん  
みなみYMCAユースリーダー

## YMCAで子どもへの指導を学ぶ

小学校低学年の時、サッカー教室に通ったのがYMCAとの出会いです。サッカーに関わる仕事をしなくて、みなみYMCAで子どもスポーツプログラムのリーダーになりました。多くの子どもとふれあい、子どもの個性に沿った教え方を学びたいと、小学生のサッカー教室と園児向けの水泳教室の指導補助を担当しています。夏休み期間中はサザンスクールも担当しました。

先日行われたみなみYMCAの祭り、サザンフェスタでは、リーダーたちの推薦を受けて実行委員長を務めました。昨年はサッカー教室の先輩リーダーが委員長だったので、後を継いで成功させたいと思い、各ブースの準備を手伝ったり、物を運んだり、裏方の仕事を率先し、各リーダーが動きやすい体制を整えました。当日は多くの方に来場していただき、模擬店の多くは完売。ぶどうの木幼稚園の園児たちのダンスや、ジャンケン大会など、ステージも盛り上がりました。今は無事終わった安堵感と、達成感で充実しています。

YMCAでは、子どもを指導する時に大切なことを学びました。それは一人ひとりをよく見て、積極的に声をかけてあげること。特にサッカーでは、一つのプレーごとにほめてあげると、子どもはどんどん上達していきます。YMCAでの学びを活かし、今後も最良の指導者となれるよう努力していきます。

# REPORT

## ユースたちがインドネシアを訪問

■日程/8月25日(月)〜29日(金)  
■場所/インドネシアメダン

YMCA国際ユースボランティアに所属する大学生2名、上通YMCA運営委員、職員の4名がインドネシアを訪問しました。今回は地球温暖化の一因にもなっているパーム油プランテーションと、工場見学をリクエストして実現しました。インドネシアの貧富の差は深刻。巨大ショッピングモールの建設現場のすぐ隣には、ゴミを集めて暮らして立っている人々のコミュニティがあり、その訴えに耳を傾けました。ユースは厳しい現実に驚いた様子でした。



富森靖博  
上通YMCA

## YMCA学院生が海外研修

■日程/8月30日(土)〜9月3日(水)  
■場所/シンガポール

経営ビジネス科2年16名と医療事務管理学科2年45名がシンガポール研修に参加しました。海外の医療やビジネス事情の講話を聴いたほか、現地大学生や専門学生と交流。英語の大切さを肌で感じながらも、身振り、手振りで意思を伝え合うことができた時の喜びを感じた学生も多く見受けられました。

YMCA学院 井上良子



# 御船町スポーツセンター及び、御船町民グラウンド指定管理運営を開始

10月1日より2年6カ月の期間、御船町スポーツセンター及び、御船町民グラウンドの指定管理を「御船町スポーツセンター等管理運営共同企業体」が担うことになりました。この企業体は、代表を公益財団法人熊本YMCAが務め、有限会社ゆうしん、有限会社スクラムの3団体で構成されます。運営する施設は、プール(25m×5コース)、体育館(バスケットボールコート2面)、武道場(柔道場・剣道場)、グラウンドなどです。

御船町が提唱する「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に様々なニーズに合わせたスポーツに親しめる環境づくり」に応え、スポーツセンターとグラウンドにおいて、YMCAが培ってきたノウハウを集結して取り組んでまいります。

具体的には、総合型地域スポーツクラブである「フネッピーすこやかスポーツクラブ」と協力支援関係を強化することで、相互の親交を深め、それぞれの強みを引き出します。相乗効果によってそれぞれのクラブが活性化することで、スポーツを通じた更なる御船町の振興を高めます。

また、遠隔地の利用促進を目的として、送迎車両の追加運行を行ったり、当センターに集う人たちの仲間づくり・居場所づくりを目的として「スポーツコミュニティカフェ」を設置したりします。このカフェは、集まる人たちが食事をしたり、おしゃべりしたり、時にはセミナーを行ったりするスペースとして活用されます。各団体の活動をはじめ、様々なプログラムの前後に活用していただき、新しい仲間・新しいコミュニティを創出します。

そして、利用者の皆さんの、よりよい健康づくりを目的として、ウエルネス・コンシェルジュ(健康案内人)がそのお手伝いをいたします。生活習慣病の予防対策として、体組成測定器を活用し、個々に応じた運動指導や栄養指導を行ってまいります。

御船町スポーツセンターでの交わりを通して新たなつながりを創出し、心身ともに健康で豊かな生活が送られるように当センターが「健康福祉総合コミュニティ拠点」となることを期待しています。皆さん、御船町スポーツセンターへのお越しをお待ちしています。

御船町スポーツセンター 所長 辻 健太郎



## TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

### 人が息づくまち「上通」

上通

夏の「城下町くまもと ゆかた祭」では、今年も上通YMCAが総合受付と浴衣着付けステーションを担当しました。

10月には銀杏祭。他にも「まちなか美術館」「ART PLEX」など、様々なイベントが次から次に企画されていきます。これらの取組みはすべて商店主や歴代の社長さん、店主さんによる手づくり、というのが最大の特徴です。

夜な夜な地域のリーダーの皆さんが集まって協議しながら、街の活性化に取り組んでいます。地域に根差すYMCAとして街の活性化に一肌脱がなくてどうする！という気持ちで私たちも様々な活動を地域と一体になって行っています。

上通YMCA 富森靖博



### 葉欣さん

東部

8月28日(木)から9月3日(水)に日本YMCA同盟東山荘で行われた「地球市民育成プロジェクト」にYMCA学院日本語科の葉欣さんが参加しました。このプログラムは、国境を越えて起こる課題に取り組む人を育てることを目的に実施されています。

葉さんは、このプログラムを通して世界的な視点から物事を見る姿勢を持つことができるようになったようです。また、参加者がお互いの文化を紹介するなどして世界中に友だちができたことも大きな成果です。葉さんが日本語科を卒業してからも、世界の絆を強めるような働きを担う存在になることを期待します。

東部YMCA 日野充裕



## Kumamoto YMCA Network

- |               |               |         |               |
|---------------|---------------|---------|---------------|
| 中央YMCA        | ☎096-353-6391 | 水前寺幼稚園  | ☎096-362-4141 |
| YMCA学院        | ☎096-353-6393 | 阿蘇YMCA  | ☎0967-35-0124 |
| YMCA学院高等学校    | ☎096-353-6391 | 尾ヶ石保育園  | ☎0967-32-0213 |
| 本部事務局・ICR     | ☎096-353-6397 | 永草保育園   | ☎0967-32-0810 |
| みなみYMCA       | ☎096-378-9370 | 赤水保育園   | ☎0967-35-0024 |
| 上通YMCA        | ☎096-352-2344 | 黒川保育園   | ☎0967-34-0402 |
| 東部YMCA        | ☎096-382-6661 | リフレスおむた | ☎0944-58-7777 |
| ながみねファミリーYMCA | ☎096-385-0676 | 就労支援事業所 | ☎096-312-1333 |
| むさしYMCA       | ☎096-248-6334 | WELL-B  |               |

## 思いやり 誠実さ 責任感 尊敬心 キャラクター・ディベロップメント 推進中

8月末に、阿蘇YMCAがある地元の皆さんを招いて、毎年恒例の「車帰感謝祭」を開催しました。区長さんをはじめ、近隣の皆さん、たくさん子どもたちが参加。運営委員やワイズメンズクラブと共に夕食のバーベキューを囲みました。お土産にはキャラクターディベロップメントの2014年度キャラクター「ケアコッコ」のイラストが入ったボールペンをお渡ししました。思わぬプレゼントに皆さん、喜んで帰られました。地域の人々に「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」の価値についてお伝えしていく一歩となることを願っています。(阿蘇YMCA 郷)



【基本聖句】あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい(ペトロの手紙14章10節)

熊本YMCAの使命 共に生きる社会 ウエルネス活動 地球環境の保全 ボランティア活動 生涯学習の推進 平和な世界

■ホームページ [www.kumamoto-ymca.or.jp](http://www.kumamoto-ymca.or.jp)  
■メールマガジン登録 [www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi](http://www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi)

